

2019年4月16日

## DENSO KOBELCO SARD LC500 開幕戦岡山、大荒れの中で4つ順位を上げ11位に



SUPER GT 第1戦岡山レポート

### 2019 SUPER GT 第1戦「OKAYAMA GT 300km RACE」(4/13-14)

#### 岡山国際サーキット(1周3.703km)

入場者数：予選11,000名、決勝17,400名 合計28,400名

4月14日（日）、シリーズ開幕戦となるSUPER GT第1戦「OKAYAMA GT 300km RACE」の決勝が行われ、クラス最後尾15番グリッドから巻き返しを狙って勇猛果敢に攻めていったDENSO KOBELCO SARD LC500は、前も見づらく滑りやすくコース上に留まっているのが困難な雨の状況の中で、スタートドライバーのヘイキがクレバーな状況判断で丁寧かつ正確なドライビングを続け24周目までに12位に順位を上げた。悪天候でクラッシュが多発し、セーフティカーが5回で赤旗中断が2回となった大荒れのレースは31周を終えたところでオーガナイザーがこれ以上の競技続行は危険と判断して赤旗終了。最終的に今季初戦は11位という結果となった。

ドライバーポイントは獲得ならず、チームポイントでは3点の獲得となった。次戦第2戦は改元となるゴールデンウィーク中の5月3日（金・憲法記念日）・4日（土・みどりの日）に富士スピードウェイで開催される。

#### ■公式練習走行



春先の暖かい日差しと桜が咲き誇った中で、いよいよ2019年シーズンが開幕。新コンビとなるヘイキ・コバライネンと中山雄一の初陣となる第1戦岡山。3月に当地で行われたGTA公式テスト岡山や富士などでテストをこなしてきたがアクシデントも重なり、新布陣での厳しいオフシーズンを過ごしてきたDENSO KOBELCO SARD LC500。今季参加車両が初めて一堂に会したGTA公式テスト岡山2日目に3番手タイム、公式テスト富士2日間総合でも3番手タイムをマークするなど、テストでの走行タイム自体は上位を刻んでおり、落ち着いて安定してくれば一気に流れに乗っていきそうな手応えとなっている。

今季開幕戦の舞台は、例年通りに岡山県東部の山間部・美作市にある岡山国際サーキット。開幕戦はハンディウェイトが各車とも0kgのノーウェイト。公式予選は両ドライバーが1回ずつアタックするノックアウト方式（Q1とQ2）でスターティンググリッドが決定し、決勝は300kmでピットストップは1回。岡山は過去にF1も開催されたことがある中低速中心のテクニカルコースで、1周約3.7kmとコース距離が短く幅も狭いながらもダイナミックなパッシングポイントがあり、ボディをこすり擦り合わせながら繰り広げられるバトルがすぐそばで見られる迫力満点の臨場感が体感できるサーキット。新コンビがタイトルへのスタートダッシュを決めるべく、勇猛果敢に勢い良く勝利を目指していった。

13日（土）午前中の公式練習走行は、青空が広がった快晴ながら肌寒く、気温10度/路面温度14度のコンディション。8時50分から混走セッションが開始され、今季5シーズン目となるヘイキが駆るDENSO KOBELCO LC500が、まずはソフト系のドライタイヤを装着して路面が安定した頃を見はからってコースイン。温まり状況を確認しながら7周を走行し1分18秒977と5番手タイムを刻む。クルマのセットも問題なく、次にハード系のタイヤを装着してパフォーマンスをチェック。タイヤの温まりに時間がかかったが1分18秒605と4番手と好タイムをマークした後に、中山と交代してヘイキの装着したソフトならびにハード系のユーズドタイヤを装着してクルマとタイヤのフィーリングのリピート確認を行った。混走セッション最後に中山がニュータイヤでアタックシミュレーションを実施しようとしたが赤旗終了に。トータル34周にわたって混走セッションでクルマの仕上がり具合を確認した。この混走セッションでは1分18秒605の5番手となった。10分間のGT500単独セッションでは、ヘイキがアタックシミュレーションを実施したが1分18秒763にとどまる結果に。公式練習走行ではトータル39周の走行となった。サーキットサファリではピットシミュレーションを間に入れながら燃料を積んだ状態でのクルマのバランスチェックをチェックしてQ1への準備を終えた。

## ■公式予選

### ■Q1：ヘイキがまさかのQ1突破ならず

13日（土）午後にどんよりした雲が覆い尽くす曇天に。気温16度/路面温度25度と路面温度が冷えたコンディションとなった10分間の公式予選Q1。残り8分間でコースインしたヘイキは、公式練習走行でのタイヤのフィーリングや走行データからハード系タイヤを選択。タイヤの温まりに時間がかかる低温のコンディションの中でタイヤを痛めないようにじっくりと徐々にペースを上げていったヘイキ。5周目にアタックに入ったヘイキはセクター1で公式練習走行を上回る自己ベストを更新。セクター2でも自己ベスト上回り好タイム。セクター3もベストを刻んでいき1分18秒568と公式練習走行のタイムを上回り、かつ昨年コンマ8秒



以上も削って7番手タイムとQ2進出圏内を確保できたと思ったが、残り数十秒の時間でソフト系タイヤで一発のタイムが出る勝負を賭けてきたライバル勢に次々とかわされてしまい、まさかのQ1突破ならずの15位となった。

## ■決勝

### ■ウォームアップ走行

14日（日）は朝から雨が降り出し一気に路面を濡らしていく状況に。セレモニーを終え12時55分から始まったスタート前20分間のウォームアップ走行は、気温12度/路面温度14度と寒いウェットコンディションに。まずスタートドライバーを努めるヘイキがウェットタイヤを装着してコースイン。7周を走り終えピットワークのシミュレーションを兼ねてピットイン。その後、中山が5周の確認走行をして雨の決勝への準備を整えた。

### ■決勝レース

#### 第1スティート：ヘイキが雨で正確な速さを見せポジションアップ

14日（日）14時30分決勝スタート時点は気温12度/路面温度15度の雨。時折強く降り、各所に川のような流れと大きな水たまりができていく。安全上の観点からセーフティカー（SC）スタートが宣言。クラス最後尾の15番グリッドからの巻き返しを狙っていったヘイキが駆るDENSO KOBELCO SARD LC500。4周の隊列を組んだSCランの後、グリーンフラッグとともに前走車が巻き上げる雨で前が見えない中、本格的にレースが開始され、虎視眈々と後方からチャンスを窺いながら前を狙うヘイキ。だが10周目にGT300車両の激しいアクシデントを皮切りに悪天候でクラッシュが多発。前も見づらく滑りやすくコース上にとど



まっているのが困難な雨の状況の中で、ハイキがクレーバーな状況判断で丁寧かつ正確なドライビングを続け、24周目までに12位に順位を上げていった。全部でセーフティカーが5回で赤旗中断が2回となった大荒れのレースは、31周を終えたところでオーガナイザーがこれ以上の競技続行は危険と判断して赤旗で打ち切り終了。最終的に今季初戦は11位という結果となった。ドライバー交代までレースが行われず中山の決勝での走行は次戦持ち越しとなったが、今回事故が多発するもドライバーらが無事であったことが何よりとなった。

全82周のうち75%未満のため与えられるポイントは半分。ドライバーポイントは獲得ならず、チームポイントでは3点の獲得となった。次戦第2戦は改元となるゴールデンウィーク中の5月3日（金・憲法記念日）・4日（土・みどりの日）に富士スピードウェイにて開催される。



### ■ハイキ・コバライネン

「公式練習走行でまずまずのタイムで、持ち込みセットアップやタイヤのフィーリングも良かった。Q1での結果は良い走りが出ていただけに自分自身とても悔しいね。決勝は、とても厳しい気象コンディションで危険な状況でコース上に留まっているのがやっとなりで常にステアリングと格闘している感じだった。赤旗終了は懸命な判断だったと思う。それにしてもライバル勢はとても手強かった。我々も大きく進化する必要がある。次の富士ではファンの喜ぶ顔を見られるようにしたいね」

### ■中山 雄一

「とても厳しい状況の開幕戦。非常に難しいコンディションでしたがハイキさんのおかげで無事に終わることができました。まだまだライバル勢に比べてスピードが足りずに悔しい結果でしたし、自分自身の予選アタックと決勝走行は富士へ持ち越しとなりましたが、より気合いが入ります。このレースで得られたデータをよく見直して次への対策を考えていきたいですし、チームと力を合わせてできるだけ早く戦えるクルマに仕上げたいと思っています。皆様、引き続きのご声援をよろしくお願いいたします」

### ■監督 才木 祐二

「厳しく難しいレースとなりましたが、陣容が変わっての初レースで次につながる数多くのことを得ることができました。他メーカーのライバル勢とは予選で速さの点では差を感じましたが、決勝の強さでは負けていたとは思っていません。まだまだやるべき事はありますが、2人のドライバーが気持ちよく走れるチーム環境造りに引き続き努めていきたいと考えます。開幕戦での皆様の温かいご声援に感謝申し上げます。次の富士戦では皆様の期待に応えるようにしていきたいと思ひます」

### ■Qualifying Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time	WH
1	23	MOTUL AUTECH GT-R	松田 次生/R.クインタレッツィ	*R 1'16.602	0
2	12	カルソニック IMPUL GT-R	佐々木 大樹/J.ロシター	*R 1'16.876	0
3	1	RAYBRIG NSX-GT	山本 尚貴/J.パトン	*R 1'16.950	0
15	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	H.コバライネン/中山 雄一	1'18.568	0

\*タイムはQ2ベスト 天候：晴れ、コース：ドライ

## Race Result

Pos.	No.	Car	Driver	Time/Diff	Laps
1	8	ARTA NSX-GT	野尻 智紀/伊沢 拓也	1:53'35.505	30
2	23	MOTUL AUTECH GT-R	松田 次生/R.クインタレッリ	+1.227	30
3	12	カルソニック IMPUL GT-R	佐々木 大樹/J.ロシター	+2.781	30
11	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	H.コバライネン/中山 雄一	+14.904	30

天候：雨、コース：ウェット、3.703km×30Laps

## Drivers Ranking

Pos.	No.	Driver	Total
1	8	野尻/伊沢	10
2	23	松田/クインタレッリ	8.5
3	12	佐々木/ロシター	5.5
-	39	コバライネン/中山	0

Point standings after Rd.1

## Team Ranking

Pos.	No.	Team	Total
1	8	ARTA	13
2	23	NISMO	10.5
3	12	TEAM IMPUL	8.5
11	39	LEXUS TEAM SARD	3

Point standings after Rd.1

## Partners



## 情報参照先

● サード公式サイト	: <a href="http://www.sard.co.jp">http://www.sard.co.jp</a>
● SARD Facebook	: <a href="https://www.facebook.com/SARD.Corporation">https://www.facebook.com/SARD.Corporation</a>
● SARD Twitter	: <a href="https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD">https://twitter.com/LEXUSRACINGSARD</a>
● SARD Instagram	: <a href="https://www.instagram.com/lexus_team_sard/">https://www.instagram.com/lexus_team_sard/</a>
● SUPER GT	: <a href="http://supergt.net/jp/">http://supergt.net/jp/</a>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)

**SARD**

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50  
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

[www.sard.co.jp](http://www.sard.co.jp)